



津宮小学校コミュニティ・スクールだより

6年生家庭科「ナップザック製作」に支援の輪が広がりました！

今年度も、高学年のミシン実習の時期を迎えました。毎年5年生がエプロン、6年生はナップザックを作っています。この実習には地域からミシンボランティアさんを募って、子どもたちをサポートしていただいています。今年度は、江津工業高校の森口美緒先生、生徒の安倍愛美さん、砂田起和さんにも参加していただけることになって、とてもスムーズに製作することができました。



ものづくりをする上での心がまえ「5つのS」を学びました

今回、あるご縁から江津工業高校の先生という「ものづくりのスペシャリスト」をお招きしての授業が実現しました。いつもは高校生を相手に授業をしておられる森口先生ですが、この日は小学生向けに独自の教材も用意してくださっていました。ものづくりの現場で大切にしている「5つのS」。それは安全に活動するための基本であり、それがおろそかになると大きなケガにもつながってしまいます。それは建設現場などの大きな機械を使ってする作業だけでなく、机上での細かい作業にもいえることだと教えていただきました。

「5つのS」 「整理（せいり）」 「整頓（せいとん）」 「清掃（せいそう）」 「清潔（せいけつ）」 「躰（しつけ）」

準備8割・本番2割 ～事前の打ち合わせが大切なことを実感～

今回は小学校に授業に来ていただくにあたり、森口先生に下見にきていただきました。ちょうど新しいミシンも4台入ったということもあり、ボランティアさんにも声をかけて顔合わせを行いました。これまではそういう機会が持てず、支援者自身が戸惑うこともありました。実際に布を広げて子どもたちがこれまで間違えやすかった部分のチェックや、より丈夫に仕上げるための縫い方を考えることができました。

そして迎えた授業当日。今回出し入れ口のわきのぬいしろの部分は、キットについている説明と少し違う仕上げをします。森口先生はその部分に手書きの図を書き、裏には1人ずつ両面テープをつけてキットに貼らせてくださいました。きちんと準備していただいたおかげで、子どもたちもボランティアさんもスムーズに作業することができました。計4時間の授業で全員完成させ、広島への平和学習にそのナップザックを背負って出かけることができました。森口先生はじめ、支援してくださったみなさま、ありがとうございました。大人にとっても多くの学びのある活動となりました。



このひと手間で、とても丈夫な仕上がりになりました！

次号のお知らせ

津宮小学校建て替え工事にあたり行った発掘調査で、平安時代の遺物が多数出土！！「本驛遺跡」と名づけられました。6年生理科地層学習の発展で、その様子を出前授業で解説。地域の方にも授業公開します。講師は江津市教育委員会埋蔵文化財発掘調査員の持田直人さん。出土した土器を実際に見て手に取るができる貴重な機会となりました。次号もお楽しみに！

